

# 医療の最前線レポート

ニュースウィーク日本版

# Newsweek

抗癌剤から  
在宅医療まで  
進化を続ける  
医療最前線

# 世界の最新医療

# 2026

- トピックス** 癌治療薬 | 歯周病と全身疾患  
在宅医療 | 遺伝子治療 | 生殖医療
- 研究&医療技術** 医療DX | 感染症  
認知症 | 薬剤耐性 | AIセラピスト
- 予防&リハビリ** フレイル予防運動 | 脳トレ  
日本式速歩 | 脳寿命 | スーパー栄養素



副作用に悩む人のために  
臨床経験から生まれた新発想

AGA治療への関心が高まるなか、薄毛に悩み治療を検討する人は年々増えている。こうした状況の中、ナチュラルAGAクリニックは「薬に頼らないAGA治療」をコンセプトに掲げ、より「ナチュラル」「安心」「安全」な発毛治療に取り組んでいる。新行内統括院長がこの治療に着目した背景には、大手AGAクリニック勤務時代の経験がある。日本のAGA治療はフィナステリドとミノキシジルの内服が中心だが、副作用への懸念から継続が難しくなる患者も一定数存在する。「20代から治療を始める人もいる中で、長期間にわたって内服を続けることへ抵抗を示す患者さんは少なくありませんでした」。

こうした課題に向き合う中で、新行内統括院長が着目したのは、レーザー治療を中心とする「薬に頼らないAGA治療」である。従来の治療に課題を感じる患者の声に向き合う中で、より安心して選択できる新たな治療の選択肢が必要だと考えるに至った。そこで、薬の副作用に悩む人や、できるだけ自然な治療を求める人の受け皿として、2021年5月にナチュラルAGAクリニックを開設した。

## AGA治療の次なるスタンダード 薬に頼らない新戦略とは

内服薬が主流のAGA治療だが、薬の副作用や長期服用への不安感から、別の選択肢を求める声も増えている。そこで注目されるのが、レーザーや外用薬を軸にした「薬に頼らない発毛治療」だ。一般社団法人新正会ナチュラルAGAクリニックが提示する新たなアプローチについて、新行内出代表理事・統括院長に聞いた。



代表理事・統括院長  
新行内出

千葉大学医学部卒業。中目黒・池袋・名古屋千種の3院を展開する「ナチュラルAGAクリニック」統括院長。「薬に頼らないAGA治療」を掲げ、副作用にも配慮したレーザー治療・育毛剤・シャンプー等を用いた治療で、自然な発毛を追求。



一般社団法人新正会  
ナチュラルAGAクリニック

東京都目黒区上目黒1丁目26-1  
中目黒アトラスタワーアネックス2階  
03-5724-3554  
https://natural-aga-clinic.com/  
■ 診療時間：  
診療時間は3院それぞれ異なります。  
最新の診療時間は公式ホームページにてご確認ください。  
■ 診療科目：AGA治療・FAGA治療

※保険適用外自由診療  
低出力レーザー治療 9,900円/月(税込)

胞の活性化や血流改善、抗炎症作用を促す。これに加えて、細胞代謝に関わるアデノシンを含む外用薬を使用し、髪をつくり出す毛母細胞の働きを高めつつ、抜け毛の抑制と発毛環境の改善を目的としている。さらに、アデノシンを主成分とするシャンプーや、ビタミン・ミネラルを中心としたオリジナルサプリメントを併用し、内外から発毛環境を整える点も特徴である。これらを組み合わせてすることで、薬に頼らない治療選択肢の一つとして提供している。

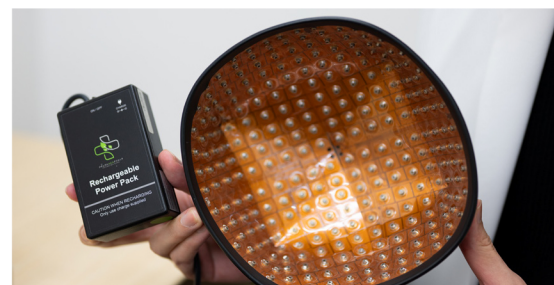
### 広がるAGA治療の選択肢 自分に合う方法を選ぶ時代

新行内統括院長が大切にしているのは、医学的エビデンスに基づいて治療を組み立てる姿勢である。「実は、広く行われているミノキシジルの内服治療は、ガイドライン上は推奨されていません。推奨されているのは外用薬の方です。AGA治療は自由診療であり、必ずしもガイドラインに厳密に従う必要はありませんが、患者さんはその前提を理解したうえで治療法を選択すべきだと考えています」。

同院が導入する「薬に頼らないAGA治療」は、男性型および女性型脱毛症診療ガイドラインでは、推奨されている治療法の一つであり、内服薬に抵抗のある患者の選択肢となっている。適応範囲も比較的広く、クリニックには男女を問わず、20代から70代まで幅広い年代の患者が訪れている。

AGA治療の技術は日々進歩しており、適切な方法を選択することで、症状の進行抑制や改善が期待できるケースもみられるようになっていきました。だからこそ、早い段階で医師に相談することがいっそう重要になっていく。「治療の始めときは、自分自身が気になったときです。例えば、つむじ周囲の地肌が少し目立ってきたと感じた段階は、すでに中等度であり軽度ではありません。進行が進むほど改善の幅は限られてしまいますから、早い段階で専門医に相談することが重要だと考えています」。

今後の展望として重視するのは、より多くの患者が「治療の選択肢を持っている状態」を広げていくことである。「AGAを治療できるという認識は広まりましたが、実際には複数の治療



ヘルメット型装置による低出力レーザー照射を中心に、アデノシン配合の外用薬やサプリメントを併用し、毛母細胞の活性化と発毛環境の改善を図る

法があり、その中から自分に合った方法を選べることは十分に知られていません。どの治療が最適かは人によって異なりますが、何より「選択肢が存在する」ことを知ってほしいのです」。その一歩として、昨年9月には名古屋に新たなクリニックを開設した。医学的根拠のある治療を、より多くの人に届けるために——確かな治療の普及を目指し、新行内統括院長の取り組みは、今後も続いていく。